

事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体名の場合は代表者名も記入)
田村 恵理 (代表者名:)
2. 研究または活動のテーマ(課題名)
Nick Adams 物語群におけるインディアンの女たちの描かれ方から、Hemingway の言語に対する姿勢を考察する
3. 助成額
400,000 円
4. 実施期間
(応募当初予定) 調査期間: 2013 年 2 月 ~ 2013 年 3 月 学会にて調査成果発表: 2013 年年内 論文にて調査成果発表: 2014 年春まで (現時点での進捗状況、今後の予定) 調査期間: ① 2013 年 3 月 19 日 ~ 3 月 30 日 (調査済) 調査期間: ② 2013 年 8 月 28 日 ~ 9 月 12 日 (調査済) 学会にて調査成果発表: 2013 年 10 月 12 日(於:日本アメリカ文学学会全国大会) 論文にて調査成果発表: 2014 年春までに投稿予定
5. 実施状況
2013 年 3 月 19 日 ~ 3 月 30 日での調査に引き続き同年 8 月 28 日 ~ 9 月 12 日に、再度ボストン JFK Library 内の Hemingway Room にて調査を行いました。 二度の調査の研究成果につきましては、2013 年 10 月 12 日、日本アメリカ文学学会全国大会(於: 明治学院大学)にて『It was a long speech for her.—Hemingway 作品における「インディアン」の少女の声』という題目のもと研究発表いたしました。そのフィードバックを反映して改稿し、2014 年春頃までに論文として投稿をする予定です。
6. 事業成果と自己評価

2013年8月28日～9月12日の二度目の調査においては、まず Hemingway が少年時代に身近にいた Ojibway 族の实在の人物たちに言及した手紙のやりとりを調べました。そして短編”Ten Indians”の草稿の中でも、今回の研究のなかで核になるべき草稿ファイル no. 202c を完全に記録しました(前回の調査ではその一部を記録したのみでした)。更に、「インディアン」の登場する短編、”Light of the World”、”The Doctor and the Doctor’s Wife”、”Indian Camp”、”Fathers and Sons”を中心に、記録し終えていない部分の記録を進めました。また同じく「インディアン」の登場する長編 *The Torrents of Spring* の草稿を閲覧し、出版版との比較検討を行いました。

二度の調査で、研究テーマに関連する資料を相当な分量集める事ができたと感じております。2013年10月12日の日本アメリカ文学会全国大会における研究発表では時間や分量の関係でとりあげきれなかった資料もあり、論文改稿のなかでより充実した内容にまとめるとともに、この資料をできる限り活かしてもいきたいと考えております。